

ASEAN Time is **Rubber Time !?**



アセアン生活者の 時間感覚の違いを探る

「時間」は、日常生活においても仕事においても、人びとの暮らしをつかさどる世界共通の尺度です。

しかし、アセアンで生活していると、各国の人びとの時間感覚が日本人のそれとは異なることに気づくでしょう。

そして、アセアン各国でもまた異なるのです。

たとえば、日本では「**時は金なり**」という言葉がありますが、

インドネシアには「**ジャム・カレット(ゴム時間)**」という言葉があります。

“「時間」とはゴムのように伸びたり縮んだりするもの”といったような意味です。

この言葉が生まれた背景には、気候の影響も大きいといわれています。

熱帯性気候のインドネシアは年中温暖で自然資源に恵まれ、四季のある国の人びとのように

季節や時間が生活を左右する要因にならなかったため、インドネシアの人びとは

のんびりリラックスした暮らしを送ってきました。

こうした感覚が現代まで受け継がれているともいわれます。

それは良し悪しではなく、その土地の風土に根ざした気質であり、そうした気質が彼らの時間感覚を形作っています。

東京の地下鉄では、電車がすでに超満員でも、先を急ぐ乗客が無理にでも乗ってこようとする光景は日常的です。

一方、バンコクのBTSを見てみれば、混雑時は無理をするより次の電車をゆっくり待とうとする人が多いことに気づきます。

このように日本とアセアン、またアセアン各国の中でも時間感覚に違いがありそうですが、

その実態はどうなっているのでしょうか？

今回は、アセアン各国の時間感覚の違いから生活者の姿を見つめました。

調査概要

- 調査手法：訪問面接調査（ASEAN5カ国）
- 調査対象者：一般生活者 男女20～59歳（※SECのA～D層までを対象）
- 調査エリア：シンガポール、クアラルンプール（マレーシア）、バンコク（タイ）、ジャカルタ（インドネシア）、ホーチミンシティ（ベトナム）
- サンプル数：各国500サンプル
- 割付：各国の人口構成に準じる
- 調査実施：Tokyo Survey Research

Contents

ASEAN Sei-katsu-sha magazine Vol.1 ASEAN Time is **Rubber Time** !?

DATA

友人との待ち合わせ

どれだけ待てる？ どれだけ待たせる？

実験調査 in インドネシア&マレーシア

わざと遅刻したらどうなる?! - 友人との待ち合わせ編 -

DATA

ビジネス会議

待てる時間、遅れてもいい時間

実験調査 in ベトナム

わざと遅刻したらどうなる?! - ビジネス会議編 -

DATA

行列行動

実際に並ぶ？ 抵抗ある？

インタビュー in タイ

どれくらいなら並んで待てますか？

DATA

その他の時間感覚

・チャット&メール ・恋愛

インタビュー in シンガポール

恋したら、どれくらい待てますか？

友人との待ち合わせ どれだけ待てる？ どれだけ待たせる？

PICK UP | 2

最も待ち合わせに遅れてもいいと
思っているのはインドネシア人！
自分が待つ時間よりも待たせてもいいと
思う時間が長いのはアセアン唯一！

待ち合わせに遅れてくる
友人を待てる時間



PICK UP | 1

アセアン5か国中で
最も友人を気長に待つのはタイ！

27.3分

23.5分

31.4分

27.6分

25.5分



《シンガポール》



《マレーシア》



《タイ》



《インドネシア》



《ベトナム》



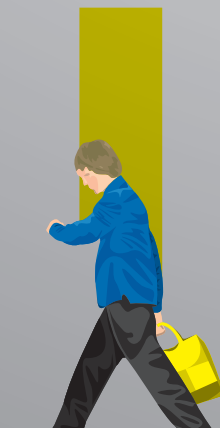
17.7分



17.0分



24.4分



28.6分



19.2分

友人との待ち合わせに
遅れてもいいと思う時間



PICK UP | 3

マレーシアはどちらの時間も最も短い結果に！

[博報堂研究員のコメント]

インドネシアには「ジャム・カレット(ゴム時間)」という言葉がある通り、人びとの時間に対する考え方はとてもアバウトです。今回の回答結果のように、待ち合わせの場面において「自分が待てる時間」よりも「待ち合わせに遅れてもいいと思う時間」が長いのも、インドネシア人ならではのかもしれません。一般的にインドネシア人はempathy(他人への思いやり)よりもdemanding(自分の要求過多)な性格が強いといわれています。例えば、毎年のように起こる洪水について不満を持っていますが、じつは自分たちが平気で捨てているゴミが原因にもなっています。悪く言えば“自己中心的”“人任せ”な気質は、過去の植民地時代に影響を受けた感覚が受け継がれているともいわれます。

□インドネシア Devi



実験調査

in インドネシア & マレーシア

わざと 遅刻したら どうなる?!

— 友人との待ち合わせ編 —

[調査概要]

友人との待ち合わせ場面において、最も「待ち合わせに遅れてもいい」と思っているインドネシアと、「待てる時間」「遅れてもいいと思う時間」ともに最短となったマレーシアで、同性の友人グループの待ち合わせに密着（ジャカルタとクアラルンプールにて実施）。一人はわざと1時間待ち合わせに遅れていくように依頼し、その時の「待つ」「待たせる」側それぞれの反応から彼らの時間感覚の違いを探りました。

実験調査実施：株式会社TNC／ライフスタイル・リサーチャー

実験調査 in インドネシア & マレーシア

わざと遅刻したらどうなる?! - 友人との待ち合わせ編 -

〔インドネシア〕

メンバー: 親しい友人の女性2名 / 待ち合わせ場所: 人気モール内のカフェ

待つ側



時間通りに到着。
着いた旨を相手に
LINEで連絡。

私が先に着くのは
いつものことなの。

待たせる側



遅れて出発。
バスを待っている。

渋滞がひどいので、
バスを長時間待つのも
よくあることなんです。

On Time

On Time



まだ連絡もないので、
ソフトクリームを食べながら、
Facebookなどで時間を潰す。

20分遅れ



まだバスは来ない。
別の友人とチャット。
待たせている友人へは
連絡していない。



バスに乗る。
ここで初めて
待たしている友人へ
バスに乗った
旨を連絡。

40分遅れ



特に不機嫌な
様子はない。
待たされている
友人から
連絡が入る。

食べ終わっちゃったわ。
彼女、バスに
乗ったみたい。



到着。
大きな
モールのため、
入り口を迷う。

60分遅れ

何度きても
なかなか
覚えられないです。。

合流!

合流!

(微笑んで)大丈夫よ!



ごめん!
バスがなかなか
来なくて遅れちゃった!

60分遅れ

いやーごめんごめん!
渋滞がひどくて。

〔マレーシア〕

メンバー: 親しい友人の男性4名 / 待ち合わせ場所: Mamak (人びとの憩いの場である街の伝統的なカフェ)

待つ側



一緒に行動していた3人が
時間通りに到着。
個々に飲み物などを注文。
10分程度なら遅れていても
誰も気にしない。

On Time

待たせる側

遅れて車で移動中。



みんな親しい間柄だし、
自分ひとりが
遅れても大丈夫!



20分くらいから
遅れている人を
気にするよう
になる。

ちょっと遅いなあ。
渋滞かもしれない。
電話してみよう。

20分遅れ

20分が過ぎて、
待っている友人からの
電話に渋滞で
遅れていることを伝える。
特に謝罪はしない。



30分が過ぎて、
さらにWhat's appで
メッセージを送信。
少しイライラし始める人も。

40分遅れ



「いまどこ?」「向かってる」

50分を過ぎて
「もっと遅れるなら今日は帰ろうか」と
ひとりが言い、「そうしようか」と賛同。
それでも親しいメンバーなので
日常の一言として理解している。

さすがに、
いつもより遅れて
しまったなと思っている。

(3人) 1時間も
遅れるなんて最悪!
彼女ならOKだけどな(笑)

〔実験調査を終えて〕

インドネシアではやはり時間の感覚はアバウトで、「待つ」「待たせる」側双方が遅刻に対して特に深く意識をしていない様子だった。実験調査を男性でも行ったが「1時間程度待つのはいつものこと」という同様の結果となった(むしろ「待つ」側の人でも遅れてきた)。インドネシアでは一般的に、集合時間は決めるがその時間に全員がそろおうと思っておらず、集合場所はゆっくり待たたり時間を潰せる場所を指定する。時間意識の高い人が集合時間を決める場合、いつも遅れて来る人にはあらかじめ1時間前の時間を伝える場合もあるという。逆にマレーシアでは、遅刻に対する意識はそれなりに高い結果が見られた。およそ20分を超えたあたりから遅刻者を意識するようになり、こまめに連絡を取り合う。今回の「待たせる」側の対象者は違ったが、遅れる場合は事前連絡する人も多く、親しい間柄では連絡さえあれば許容されるが、ビジネスシーンでは連絡もなしに遅刻するのはNGとされている。

ビジネス会議

待てる時間、遅れてもいい時間

会議の予定時間から

実際に開始されるまで待てる時間



会議に

遅れてもいいと思う時間



《シンガポール》

16.0分 10.1分



《マレーシア》

15.7分 13.0分



《タイ》

23.0分 18.6分



《インドネシア》

22.6分 17.0分



《ベトナム》

10.8分 5.9分



PICK UP | 1

ベトナムが待てる時間、遅れてもいい時間ともに
圧倒的にアセアン最短!

PICK UP | 2

タイはどちらの時間もアセアン最長!
インドネシアがそれに続く

[博報堂研究員のコメント]

ベトナム人は日常生活においてはタイやインドネシアと同じく時間に厳格でなく、どちらかというルーズな国民性と言われます。それは基本的にプライベートでもビジネスでも同じです。ベトナムでも「ゴム時間」という言葉が一部で伝わっています。今回の回答結果は、ベトナム人の時間に対する考え方への意志を示しているもののように思えます。「Time is money」の言葉を理解しているものはまだ実生活に反映されるまでには至ってはいませんが、近年の経済発展やグローバル化の影響から、若い世代のベトナム人の間では遅刻に対する感覚が改善されてきています。それと、ベトナム人の特徴(特にホーチミンシティ)としてあげられるのは、「時間があつたら小銭を稼ごう」という商人気質が強いこと。自分に利益(お金に限定しないメリット)があることに関しては時間にしっかりしているとも言われます。

□ ベトナム Lien



実験調査

in ベトナム

わざと 遅刻したら どうなる?!

— ビジネス会議編 —

〔 調査概要 〕

ビジネス会議という場面において、「待てる時間」「遅れてもいいと思う時間」ともに最短となったベトナム（ホーチミン）で実験調査を実施。新規案件のオリエンテーションという名目で4名（男2・女2）のビジネス会議を設定。一人はわざと30分会議に遅れていくように依頼し、その時の「待つ」「待たせる」側それぞれの反応から彼らのビジネスシーンにおける時間感覚を見つめました。

参加予定者：Tuyen（トゥイン）さん 27歳女性、Dung（ユン）さん 26歳女性、Tung（トゥン）さん 24歳男性、Nhgia（ギア）さん 36歳男性

実験調査実施：株式会社TNC／ライフスタイル・リサーチャー



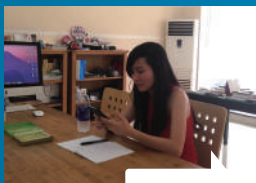
実験調査 in ベトナム

わざと遅刻したらどうなる?! - ビジネス会議編 -

待つ側

(コンさん、トゥンさん、ギアさん)

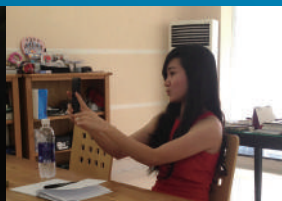
約束の20分前にトゥンさんから「バイクの故障」という理由で遅れる電話連絡が入る。また、ギアさんは別の仕事でトラブルが発生し来れないとの連絡があり当日キャンセル。これは想定外の展開・・・



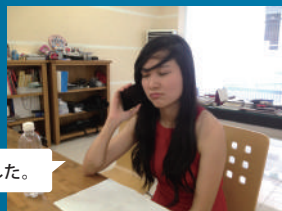
集合時間の5分前に到着したコンさん。結局時間通りに来たのは1人だけ。トゥンさんからの遅れる旨のメッセージを確認。

あ、トゥンさん遅れるのね。
10分程度ならいつものことだから気にしないかな。

誰も来ないのでFacebookを見たり、お菓子をつまんだり、しまいには自撮りを始める。



トゥンさんからさらに遅れる電話をもらい、表情がやや重くなる。トゥンさんもまだ来ない・・・



わかりました。



ここでようやく、トゥンさんが到着。コンさんに遅れたことを詫げる。



バイクが故障しちゃって・・・ごめんなさい。



その後は、遅れているトゥンさんを待ちながら、二人ともスマホを触ったり、次の仕事の準備をしたりでほぼ沈黙。コンさんは厳しい表情に・・・

3人がそろったところでミーティング開始。タネ明かし!それでもトゥンさんは申し訳なさそう・・・



待たせる側

(トゥインさん)

わざと遅れて指定のミーティング会場に出発するトゥインさん。約束の時間から5分過ぎたところで、コンさんに少し遅れることをメッセージする。



私も時間を守らない人は嫌いだから、遅れるなら連絡をするようにしてるわ。

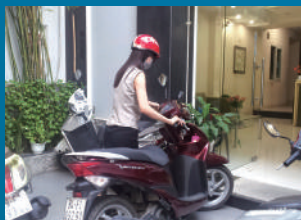
On Time

10分遅れ



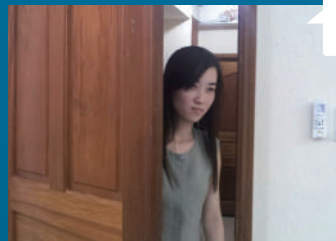
「ごめんなさい。道を間違えたのと、渋滞もあってあと10分くらい遅れそうなの・・・」

20分遅れ



トゥインさん、30分遅れでやっと会場に到着!

30分遅れ



遅れてほんとうにごめんなさい。

申し訳なさそうな表情で合流。

[実験調査を終えて]

わざと遅れてくる1名だけでなく、本来「待つ側」であるメンバーも1名が当日キャンセル、1名が20分遅刻ということで、ベトナムではビジネスにおいても実態はルーズな人も多いという考察を裏付ける結果となった。ただ、全員が遅れる場合には事前に連絡を入れることや、待つ側も待たせる側も遅刻に対するマイナスイメージをしっかりと持っている。終了後のヒアリングでは「遅刻は悪いことだし、友人であれば注意する」「仕事の場面では特に時間は大切」といった回答が得られた。若い世代を中心に、時間に対する意識の改善が進んでいることが伺える結果となった。

行列行動

実際に並ぶ？抵抗ある？

各国の行列への抵抗割合

行列に並ぶことがあると回答した人の中で、並ぶことに抵抗感がある人とない人の割合

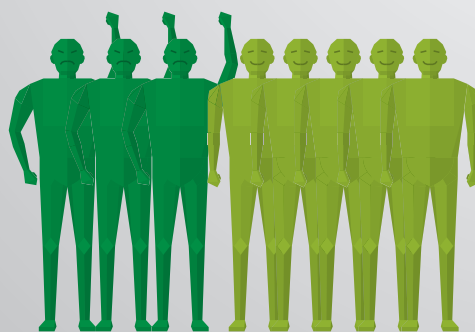
PICK UP 1

タイでは、行列に並ぶことへの抵抗はほとんどなし！

PICK UP 2

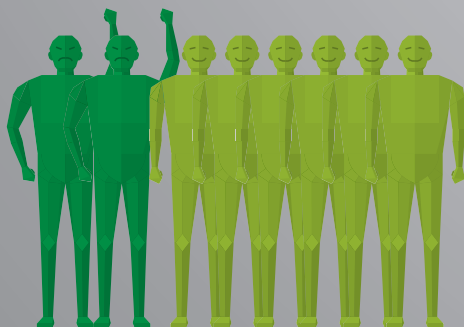
行列への抵抗が高めのインドネシアとシンガポール

《シンガポール》



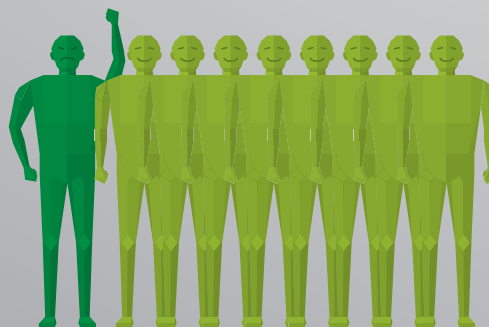
行列に並ぶ×抵抗あり 27.6%
 行列に並ぶ×抵抗なし 53.3%

《マレーシア》



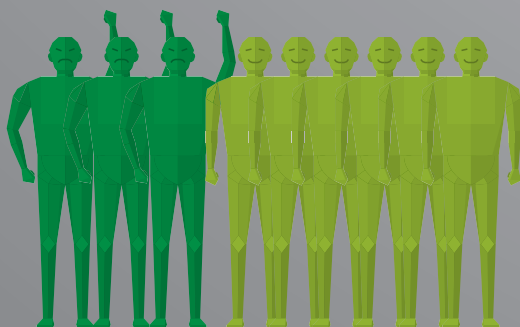
行列に並ぶ×抵抗あり 20.8%
 行列に並ぶ×抵抗なし 63.6%

《タイ》



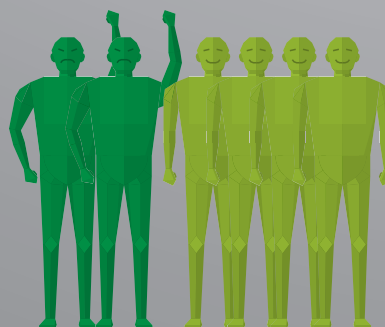
行列に並ぶ×抵抗あり 8.6%
 行列に並ぶ×抵抗なし 84.6%

《インドネシア》



行列に並ぶ×抵抗あり 33.2%
 行列に並ぶ×抵抗なし 58.2%

《ベトナム》



行列に並ぶ×抵抗あり 22.6%
 行列に並ぶ×抵抗なし 42.1%

[博報堂研究員のコメント]

行列に抵抗がないという感覚は、タイでもティーンエイジャーを中心とした若者文化のように思われます。実際は待つことを楽しむ人がいる一方で、待たされるとムード（不機嫌）になる人もいます。そして彼らは流行りのライフスタイルが好きなので、そのためなら行列も抵抗なく楽しめるということなのではないでしょうか。待っている間は、ソーシャルネットワークがあれば苦にならないというのも彼らの特徴です。

□ タイ Nan



インタビュー

in タイ

どれくらいなら
並んで
待てますか？

[調査概要]

アセアン5カ国において、最も行列に並ぶことへの抵抗が低い結果となったタイ。そこで、経済発展が進み、様々な人気スポットや新しいお店が登場しているバンコクで、実際に行列に並んでいるタイ人にインタビューし、彼らの行列で「待つ」ことに対する意識や感覚を聞きました。

インタビュー実施：株式会社TNC／ライフスタイル・リサーチャー

インタビュー in タイ

どれくらいなら並んで待てますか？

大人気チキン料理店「BonChon Chicken」



お店の前の行列

この店はもう数えられないほど来ています。毎回、必ず行列ができていますが、チキンが美味しいから絶対待ちます！いま並び始めたばかりだけど、私の前に20人くらい待っているから、入れるのはいつになるかなあ…。でも、このフライドチキンのためなら1時間は待てますね！



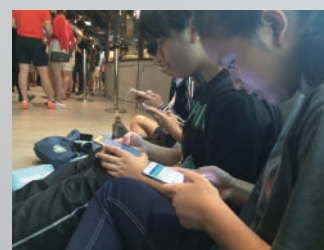
行列中はずっとスマホでSNS



みんなお目当てのフライドチキン！



このお店は学校(中学校)でも話題で、クラスみんなでよく来ます。今日はもう30分くらい待ってますね。待っている間は話をしたり、自撮りしてFacebookにアップしたりして楽しんでいます。待つこと?ぜんぜん嫌じゃないですよ。お腹は空くけど…1時間までなら待てます！



整理番号が発券されているので、呼ばれるまでは地面に座ってゆっくりと。むしろ待ち時間を楽しんでる?!

トンローにある人気のスイーツカフェ「After You」



いま10分くらい待ってるかな。待っている間はスマホで遊んだり、みんなで話をします。これまでで一番待ったのもこの店で、30分くらいだったかな。待つことは嫌ですけど、入るためには待つしかないから、待ちます！



並んでいる間はみんなでLINEやゲーム

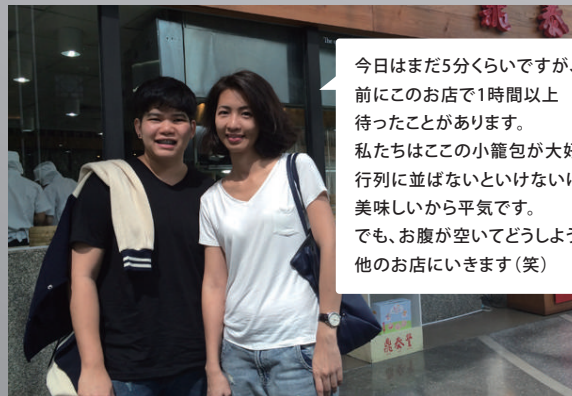


必ずオーダーする人気のハニートースト



店内では自撮りをするタイ客が多い

大人気台湾料理店「鼎泰豊(ディンタイフォン)」



今日はまだ5分くらいですが、前にこのお店で1時間以上待ったことがあります。私たちはここの小籠包が大好き！行列に並ばないといけないけど、美味しいから平気です。でも、お腹が空いてどうしようもない時は他のお店にいきます(笑)



外から見える厨房で、できたての点心がお客様の食欲を刺激



慣れた手つきで行列客に先にオーダーをとる店員

[実験調査を終えて]

タイ人の穏やかな性格や時間に対する寛容な感覚が回答に表れる結果となった。食べたいものが食べられるなら30分～1時間程度の待ち時間はほとんど苦にならないという声が多い。逆にそうした人気店に入ってお目当てのものを食べることが楽しみでもあり、SNSなどで友人に自慢したいという気持ちも強い。行列店では整理番号が発券されており、それを受け取った後は、自由に友人とのコミュニケーションやSNS、セルフィーをしたり、人によっては地面に座ってリラックスしながら、むしろ待つ時間を楽しんでいるように感じられる。

その他の時間感覚①

チャット&メール



PICK UP

チャットアプリ大国!常に友人や家族とつながりたい
 インドネシア人は、チャットの返信を待てる時間が
 群を抜いて短い!電子メールでも同様の結果

|| LINEやWhat's appなど
 || チャットアプリの返信を待てる時間

《シンガポール》	《マレーシア》
6.5 時間	6.4 時間

《タイ》	《インドネシア》
16.1 時間	3.7 時間

《ベトナム》
10.3 時間

|| 電子メールの
 || 返信を待てる時間(プライベートの場合)

《シンガポール》	《マレーシア》
16.6 時間	23.0 時間

《タイ》	《インドネシア》
21.8 時間	9.1 時間

《ベトナム》
23.2 時間



その他の時間感覚②

恋愛



PICK UP

シンガポール人は恋愛も効率性重視、待てる時間が短い！

異性のことを一方的に
好きでいられる期間

《シンガポール》

6.9ヶ月

《マレーシア》

10.1ヶ月

《タイ》

14.6ヶ月

《インドネシア》

3.7ヶ月

《ベトナム》

13.3ヶ月

デートから初めて

キスするまでの待てる期間

《シンガポール》

4.6ヶ月

《マレーシア》

8.9ヶ月

《タイ》

7.9ヶ月

《インドネシア》

5.1ヶ月

《ベトナム》

5.8ヶ月



[博報堂研究員のコメント]

□シンガポール April

最近シンガポールではSNSや出会い系アプリを通じて相手を見つけ、交際することが大きなトレンドです。背景としては、シンガポール社会ではキャリアが最重要視されるため、20代中頃から後半は仕事での人付き合いがほとんど。そのため、新しい出会いの機会が少ない彼らにとっては恰好のツールとなっています。恋愛も効率性重視です。もう少し若い世代は恋愛に対してエネルギーで、ナイトクラブや外出先で新しい出会いを求めます。せっかくの時間を無駄にたくないという感覚があるのかもしれないですね。





インタビュー

in シンガポール

恋したら、 どれくらい 待てますか？

[調査概要]

恋愛に関する時間において、相対的に他のアセアン諸国よりも進展がはやいという結果になったシンガポール。近年は出会い系アプリやインターネットサービスの利用など、オンラインで気軽に出会い恋愛を楽しむ人びとが急増しています。実際にシンガポール人カップルにインタビューし、彼らの恋愛に関する時間感覚を聞きました。

インタビュー実施：株式会社TNC／ライフスタイル・リサーチャー

インタビュー in シンガポール

恋したら、どれくらい待てますか？



Facebookを通じて知り合った23歳のシンガポール人カップル。交際歴は2年。キャリア形成や旅行など、お互いやりたいことを尊重しながら、将来的には結婚を考えています。

そんな二人に、恋愛や結婚に関する時間感覚についてホンネを聞きました。

Interview

Q: 出会いはどのようなかたちでしたか？

A (彼女): Facebookで彼からのメッセージを急に受け取りました。共通の友人が1人いて、それをきっかけにやりとりが始まりました。それまではお互いのことはまったく知りませんでしたね。急にメッセージが届いたので驚きました(笑)。

Q: どうして彼女にメッセージを送ったのですか？

A (彼): Facebookで共通の友人の友達リストを見ていて、彼女のプロフィールが目留まりました。とても可愛かったから、どうにか友達になれないかな、会えないかなって(笑) その後、1週間くらいやりとりをして、ディナーに誘って、ようやく会えた時はすごく嬉しかったです。

Q: 知り合ってから付き合い出すまでにどれくらいの時間がかかりましたか？

A (彼女): 1ヶ月です。5回くらいディナーやお茶をして、それから彼に告白されました。

Q: 初めてのキスまでは付き合い合ってからどれくらいの期間でしたか？

A (彼女): 初めてのキスは1週間目。その時は何かのゲームをしていて、罰ゲームとしてしたのが初めてでした。きちんとしたオフィシャルなのは、付き合い合ってから1ヶ月後だったと思います。彼に家に送ってもらって、バイバイという前にキスしたと思います。

Q: 初めてのキスから、少し間があいて2回目のキスとのことですが、その間は長く感じましたか？

A (彼女): 最初のキスが悪ふざけのようにしてしまったので、キスしたい気持ちもあったけど、ちょっとお互いじらしているというか、次はいつかな、という感じでドキドキする期間を味わっていたと思います。

A (彼): そうですね。僕は結構我慢していましたが、3週間が限界でしたよ(笑)。

Q: シンガポール人は「異性のことを一方的に好きでいられる期間」と「デートから初めてキスするまでの」待てる「期間」が他のアセアン諸国よりも短いという調査結果が出ましたが、どう思いますか？

A (彼女): シンガポールは欧米文化の影響が強いため、人間関係も異性との付き合いもオープンな人が多いという理由があると思います。それと、キャリアやお金、旅行などの娯楽は人生における大切な要素だし、生活を充実させるにはいつも何かと忙しいから、一人の相手を時間をかけて振り向かせる、というよりは、ダメだったら次!すぐに他の人見つかるでしょう!という人が多いですね。初めてのキスまでの時間に関しては、キス自体そんなに重大なものではないので、あっさりしてしまう人も多いのではないかと思います。

A (彼): 小さい国ということも一つの理由になるかもしれません。仕事の後でもすぐに会えるから、会える回数が多くなり、自然と短期間でも恋愛に発展して、キスも早くなるのかもしれません。

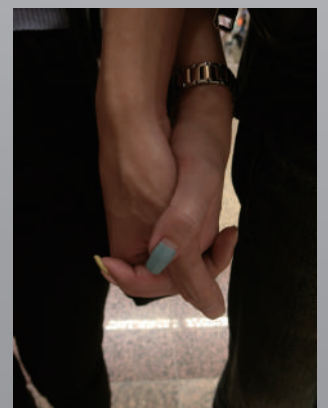
Q: では、結婚となるとどうでしょう？

A (彼女): 結婚は恋愛とは別ですね。結婚は先の人生のこと、自分自身だけでなく家族や親戚にも関わることなので、慎重になります。それと、HDB(政府管轄の集合住宅)もカップルで応募してから鍵をもらうまでに3~5年はかかるので、きちんと計画を立ててから結婚しないといけない、という事情もありますね。

A (彼): あとは、結婚資金を貯めないといけないというのも大きな理由の一つではないかと思います。親の世代はROM(結婚式)と結婚式(披露宴ディナー)を一緒にすることが多かったけど、最近の若い世代は、ROMをして2年後などに結婚式をするケースも多いです。結婚式は家族や親戚、友人など多くの人を呼ばないといけないので、お金が貯まってからでないとできません。特に男性は、ある程度の年齢になって経済的に安定できるようなキャリアを築くまで、プロポーズ自体も慎重になりますね。



大学の卒業式



いつもしっかり手をつないでいる

[実験調査を終えて]

恋愛に関してはオープンな関係で発展にかかる時間も短いですが、結婚となると慎重になるシンガポール人の特徴が回答から伺える。恋愛が発展するスピードがはやい理由として、独身のシンガポール人は35歳から自分名義でHDBを購入することができるが、それまでは親と同居している人がほとんどだ。家賃も高いため、日本のような一人暮らしも少ない。そうした背景から、親と同居している独身のシンガポール人は、自分の収入を好きなように使え、家事も親がやってくれるため、仕事以外では自由な時間が豊富にある人が多い。そのため、積極的に異性との出会いや交際を楽しみ、スピーディーに発展する傾向が高い。しかし、シンガポール人が結婚になると慎重な理由は、キャリア形成と経済的安定を最重要視している点にある。結婚を前提に5年以上付き合い合っているカップルでも、しっかりとキャリアを築き、経済的に安定してからでないと正式にプロポーズも結婚もしたくない人も多い。シンガポールは雇用形態も欧米式で、生涯同じ会社で働くことができるという安心感もないため、転職も当たり前。こうした社会的背景もあり、いざ結婚となると慎重になるカップルが多いのが実情である。

ASEAN Time is Rubber Time? -まとめ-

今回の調査を通じて、Rubber Timeとはリラックスして人生を楽しみ、またお互いのペースを尊重するための生活の知恵でもあるように感じました。経済優先社会においては、Time is moneyが優れた考えのように思えるかもしれませんが、生活優先社会においては、Rubber Timeという考え方も一つの価値観なのではないかと感じました。

Indonesia: Rubber Time at your own pace

待つのも待たせるのも、マイペースで気にしない。
インドネシアのRubber Timeは個人を尊重する考えの表れかもしれません。

Thailand: Harmonious Rubber Time

待つ時間もリラックスして、仲間との楽しい時間になっています。
タイのRubber Timeは、時間と調和するための生活の工夫なのかもしれません。

Vietnam: Discontinuing Rubber Time

ベトナムの現実にはRubber Time。
しかし経済発展とともにRubber Timeを改めるべきという意識が強くなっているようです。

Singapore, Malaysia: Rubber Time < Time is money

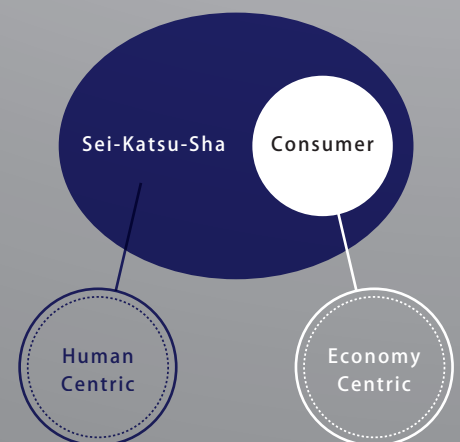
シンガポール、マレーシアではどちらかといえばTime is moneyの
価値観のほうが強いように感じられました。

博報堂生活総研アセアンとは？

生活者発想で、人間をまるごと観て、行動の根本にある
考え方を読み解くシンクタンクです。

博報堂は、人々のことを消費者ではなく、生活者と呼びます。
消費活動だけでなく、人々の生活をまるごと把握し、行動の根本にある考え方を読み解く。
その上で商品やサービスに求められることを理解する、それが博報堂の哲学です。
生活総研アセアンは、この生活者発想を具現化する組織として、
アセアン生活者の意識と行動を観察、その根本にある考えを探るシンクタンクです。

生活総研アセアンでは、大局を見る目と細部を見る目の両方を大事にしています。
大局を見る目について、私たちは大規模定量調査などを使い、時系列での変化を重要視します。
一方細部を探る手法として、私たちは今回の実験調査のようなユニークな手法を積極的に取り入れ、
生活者の深いインサイトを理解することに努めています。



- 企画・発行：博報堂生活総研アセアン (<http://www.hillasean.com/>)
- 編集・実験調査・インタビュー：株式会社TNC／ライフスタイル・リサーチャー (<http://lifestyle.tenace.co.jp/>)
- 定量調査：株式会社東京サーベイ・リサーチ (<http://www.tsrn.co.jp/>)
- デザイン：株式会社モノリス (<http://www.monolith-net.co.jp/>)